



やたらと高さがある
セランゴール競馬場のゴール板



十分加熱しないとリスクーだが、
魅力ある屋台



イボー競馬場の観覧席からコースを臨む

世界旅打ち気分

●第18回・マレーシア

須田鷹雄

写真のカラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>の
#グリーンファーム会報#2019年10月号
でご覧いただけます

合併号や募集馬レビューがあるため、久々の「世界旅打ち気分」。今回取り上げるのはマレーシアの競馬場だ。

ール国際空港から定額制のタクシーで、バジエットカードだと約800円、ベンツなどのプレミアクラスでも一万円ほどで行ける。

行つた」ともある。当時の理事長が日本企業の現地法人トップを務めていた経歴のある方で、日本のテレビ取材なども大歓迎してくれたものだった。

ア競馬の経験が多いわけではない。馬券 자체はシンガポール側でよく買うのだが、競馬場そのものを訪れたことは各場1回ずつしかない。ただ、ちょうど最後まで残っていたセラソーゴール競馬場に先日行つてきたところなので、この機会お届けしようと思う。

マレーシアには3つの競馬場がある。首都クアラルンプールにあるセラソーゴール競馬場、ペラ州の州都であるイポー競馬場、そして觀光地としてもおなじみのペナン島にあるペナン競馬場である。今回はイポーとセラソーゴールを紹介しよう。

まずはイポー競馬場から。イポーはクアラルンプールから北へ200キロほど行ったところにある人口70万人ほどの都市。クアラルンプールからはマレー鉄道や高速バスが走っているが、マレーシアはタクシーがめちゃめちゃ安いので、行つてくれる車さえあればタクシーも選択肢だ。ちなみにクアラルンプ

キロほど行ったところにある。タクシーのほか、マレーシアやシンガポールで独占的なシェアを持つ配車アプリのGrab(GrabBERと同じようなアプリ)、東南アジアではGrabの事業を吸収した)を利用するということになる。クアラルンプールから日帰りは困難なので一泊することになると思うが、ホテルへの出入りを考えるとなおさらスマホにはGrabを入れていく必要があるだろう。

と言いつつ、私がイギリス競馬場に行つたのは配車アプリビジネスかこの世にスマホも無かつた10年以前の話。ホテルからタクシーで向かつた先にあつたのはなかなか立派なサイズの競馬場で、入り口の近くには屋台も多数出て賑わっていた。

このイギリスは日本人とのゆかりも深く、かつては河内洋騎手(現調教師)が招待レースで勝利したこともあり、名古屋競馬場所属だった山本茜元騎手が修行に

場内も昔風の競馬場というか、ファンは多く熱気に満ちている。ただ日本と違うのは、少なくとも10年前は圧倒的にノミ屋が幅をきかせていたことだ。公式の窓口で馬券を買っている人はごくわずかで、売り上げの9割はノミ屋だといつ話さえた。別日に訪れたナショナルスタッドファームの獣医さんによると「基本イスラムの国なので、政府は競馬＝賭け事のためには動いてくれない。ノミ屋も捕まらないで無くならない」とのことだつた。実際撮影でカメラを向けてもノミ屋は怒るどころか笑顔で手を振つてくるほどで、摘発されるというリスクが無いのだつ。

があつたら寄るのが当然。勇んで食べたのだが……加熱が不十分で見事に翌日食あたりになつた。しかし「競馬おやじの集う店」としてたいへん魅力的ではあるので、皆さんも行く機会があつたら、「十分加熱」を念頭に置いてぜひ食べてみていただきたい。

続いて、セラノ「ゴール競馬場」。こちらは日本人も行きやすい立地にある。クラブルームの中心部から、車で20～30分ほど。あいにく電車の駅などは無いので、タクシーかGrabを利用するとよい。帰りもまたタクシーがいるし、Grabを呼べばすぐに来るはずだ。

一般席の入場門はひとつだけで、そこをくぐると競馬新聞の売り場がある。さらに進むと馬券売り場があるのだが、入場していくばん先に着いた左側に、冷房つきエリアへの追加支払い窓口がある。1年じゅう蒸し暑いクラブルーム一ルなので、快適に過ごしたいときはここで追加料金を払ってエアコンエリアに陣取ったほうがよい。ただ先日行ったときは、ビルの3階相当の高さにあるエアコンの窓口アリヤにつながるエスカレーターが故障中だった

が……パドック派は階段の上り下りを毎レースしていくら、かえって汗だくなってしまいそうだ。
ファンエリアの作りはシンプルで、馬券売り場と食堂エリアが1列ずつ配置されているような感じ。シンガポールのクラシック競馬場は1階スタンンドの両端に飲食エリアが配置されているが、こちらは「馬券・メン・馬券・メン……」ともいって並びになっている。シンガポールに行つたとのある方は不力一ズという屋台村のような飲食街を利用したことがあると思うが、「ここ」も競馬場内にホーカースタンドが形成されているような感じだ(メンバーリアには中華のレストランなどもある)。中華やマレー料理などさまざまなメニューがあり、しかも安い。マレーシアは食事も安いのだが、競馬場価格のようなものもなく、場内でも安いまま。なんなら朝食抜きで行って競馬場で2食食べたいくらいである。

いう概念は基本的に無く、当回発売がほぼ100%。しかも、締め切り5分前くらいになると本格的に票数が動かないで、どれが人気馬なのかどうかさえよく分かららない。逆に馬券を買うときは、オッズを気にせず自分の買いたい馬を素直に買うのがよいだろう。賭式でシーアが高いのは単勝と複勝だが、3連単（フオアキャスト3）もけつこう売れる。よほど突っ込まない限り、自分の票数で自分の首を絞めることにはならないだろう。